

地域ぐるみのサル被害対策（島根県江津市波積町上北集落）

- 波積町上北集落の水田にクマの痕跡があり対応した際に、地域住民が一番困っているのはサルということが判明し、サルの勉強会を開催
- 地域ぐるみの追い払い等効果的な取組を実施
- 地域リーダーが周辺地域で効果のある追い払い方法を指導することで、2年間で農地周辺のサルの出没頭数が激減

取組内容

H28年度

- サルについての勉強会を実施し、正しい追い払い方法や先行事例を勉強
- 地域リーダーを中心とした地域ぐるみの追い払い体制を構築
- 誘引物の洗い出しを行い、サル出没調査票を作成

H29年度

- 地域ぐるみの追い払いを開始
- サル用防護柵の設置や放任果樹（不在村含む）の伐採を実施

H30年度

- 水稻栽培者に働きかけ、ひこばえを刈り取り
- 地域リーダーによる周辺地域での指導
- サルの出没範囲が広がった、という周辺地域の不満を取組のきっかけに！



成果

【サルの出没状況の推移と対策の効果】

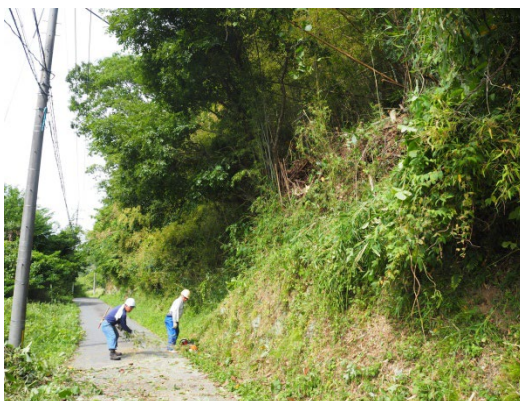
	2016年	2018年
サルの数	50～60頭	1頭～数頭の集団
頻度	通年農地に頻繁に出没	季節的 山に多い
人慣れ度	人を見たら威嚇	人を見ただけで逃げる

- 周辺地域へも取組が波及

地域ぐるみのサル被害対策(島根県江津市波積町上北集落)



住民の8割以上が在宅。高齢化率の高さを活かして地域ぐるみの追い払い



空き家の放任果樹も所有者と連絡を取り、不要なものは伐採



冬場の餌となるひこばえを刈り取り・すき込み

波積町上北集落はサルの餌場ではなくなった！



サルを追い払う方向もみんなで検討・共有

【周辺地域への広がり】



上北集落のリーダーが周辺地域に成功体験を直接伝える

【今後の活動】

サルの周辺地域への出没をなるべく広げないよう工夫しながら、広域的に情報交換を行い、地域ぐるみで協力した追い払い活動を継続